

2019年8月8日

輸送動向について（2019年7月分）

1. 輸送概況

コンテナは、前年に発生した「平成30年7月豪雨」の影響により、すべての品目で大きく前年を上回った。中でも、鉄道へのシフトが進む積合せ貨物が大幅な増送となったほか、中国・九州地区に生産拠点を持つ紙・パルプ、自動車部品、化学工業品・化学薬品も前年の災害による反動増となった。また農産品・青果物は北海道・九州産ともに生育良好であり好調な発送となったほか、エコ関連物資は関東地区内建設発生土輸送が順調に推移し、前年を上回った。その結果、コンテナ全体では前年比146.7%となった。

車扱は、石油が昨年と比較して梅雨明けが遅く、気温が低く推移したことに伴って、大幅な減送となった。その結果、車扱全体では前年比95.1%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比128.0%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,826	1,245	146.7%	7,007	6,655	105.3%
車 扱	674	709	95.1%	2,562	2,569	99.7%
合 計	2,500	1,954	128.0%	9,569	9,224	103.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	110	78	32	140.0%
	化学工業品	170	113	57	149.7%
	化学薬品	122	81	41	151.9%
	食料工業品	327	250	77	130.8%
	紙・パルプ	222	149	73	148.8%
	他工業品	136	96	40	142.6%
	積合せ貨物	244	152	92	160.6%
	自動車部品	86	41	45	211.8%
	家電・情報機器	38	26	12	143.5%
	エコ関連物資	57	34	23	167.3%
	その他	315	225	90	139.8%
コンテナ計	1,826	1,245	581	146.7%	
車 扱	石油	431	465	-34	92.7%
	セメント・石灰石	128	130	-2	98.5%
	車 両	68	68	0	101.0%
	その他	47	46	1	100.8%
	車 扱 計	674	709	-35	95.1%
合 計		2,500	1,954	546	128.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)